

令和7年度第2回 本庄市交通政策協議会（書面開催） 次第

令和8年1月21日（水）

～1月28日（水）

頁

1 報 告

- | | |
|------------------------------------|-----|
| （1） 新任委員の報告及び監査委員の会長指名報告について | 2 |
| （2） リニューアルアンケート（はにぼん号・はにぼんシャトル利用者） | 3 |
| （3） はにぼん号の日曜運行実証実験について | 1 3 |
| （4） はにぼん号バス停の新設等報告 | 1 7 |

2 議 事

- | | |
|---|-----|
| （1） 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）
の事業評価について | 1 9 |
| （2） 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）
の事業評価について | 2 3 |
| （3） 令和7年度 歳入歳出予算の変更（案）について | 3 4 |

令和7年度 本庄市交通政策協議会 委員名簿

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	選 出 区 分 (本庄市交通政策協議会設置要綱第3条第2項)		備 考
会長	佐 々 木 邦 明	第13号委員 (学識経験を有する者)	早稲田大学 教授	
委員	齊 藤 順 一	第1号委員 (本庄市長又はその指名する者)	本庄市都市整備部長	
委員	田 沼 健 一	第2号委員 (一般乗合旅客自動車運送事業者)	朝日自動車株式会社 運輸部長	
委員	石 倉 実 希 雄		十王自動車株式会社 代表取締役 社長	
委員	関 根 肇	第2号委員 (一般乗合旅客自動車運送事業者が組織する団体)	一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	
委員	金 子 英 俊	第3号委員 (一般貸切旅客自動車運送事業者)	庄和観光バス株式会社 代表取締役	
委員	浅 見 禄 郎		協同貨物自動車株式会社 代表取締役	
委員	神 宮 つ ぐ よ	第4号委員 (一般乗用旅客自動車運送事業者が組織する団体)	本庄地区タクシー協議会 会長	
委員	藤 田 眞 員		一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	
委員	飯 塚 光 弘	第5号委員 (一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者)	朝日自動車労働組合 執行委員長	
委員	佐 久 間 俊 雄	第6号委員 (住民又は利用者の代表)	栗崎自治会長	
委員	柳 田 信		本庄市老人クラブ連合会 副会長	
監査委員	木 村 勝 己		本庄商工会議所 議員	
委員	宮 部 孝 夫		児玉商工会 副会長	
委員	種 村 朋 文		本庄市身体障害者福祉会 会長	
委員	荻 原 正 幸	第7号委員 (本庄警察署長又はその指名する者)	本庄警察署交通課 課長	
委員	坂 本 悠 人	第8号委員 (児玉警察署長又はその指名する者)	児玉警察署交通課 課長	
委員	島 根 アツシ	第9号委員 (国又は県の交通政策行政の経験及び知識を有する者)	埼玉県企画財政部交通政策課 主査	
委員	高 木 純 子	第10号委員 (関東運輸局埼玉運輸支局長又はその指名する者)	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官	
委員	原 田 英 之	第11号委員 (国又は県の都市計画行政の経験及び知識を有する者)	国土交通省関東地方整備局建設部 都市調整官	
委員	隅 藏 雄 一 郎	第12号委員 (道路管理者 (国道))	国土交通省大宮国道事務所 所長	
委員	栗 原 リコウイサ	第12号委員 (道路管理者 (県道))	埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長	
監査委員	林 富 司	第13号委員 (その他協議会が必要と認める者)	本庄市議会 議員	

任期満了日：令和8年3月31日

報告（１） 新任委員の報告及び監査委員の会長指名報告について

1 新任委員の報告（退任委員の報告）

新任委員 佐久間 俊雄 委員	選出区分	西今井自治会長
退任委員 町田 純一 委員	第 6 号委員	栗崎自治会長

新任委員 木村 勝己 委員	選出区分	本庄商工会議所 専務理事
退任委員 田中 一成 委員	第 6 号委員	本庄商工会議所 議員

新任委員 隅藏 雄一郎 委員	選出区分	国土交通省 大宮国道事務所 所長
退任委員 中洲 啓太 委員	第 12 号委員	国土交通省 大宮国道事務所 所長

2 監査委員の会長指名報告

田中 一成 委員の退任により、監査委員に空席が生じたため、本庄市交通政策協議会設置要綱第 12 条第 1 項の規定に基づいて、会長が次のとおり監査委員を指名したので、報告します。

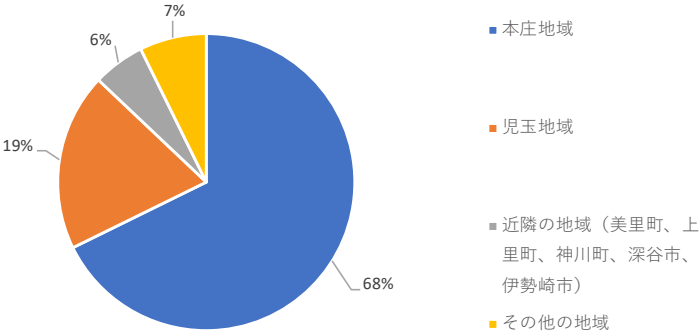
新監査委員	木村 勝己 委員（本庄商工会議所 議員）
-------	----------------------

報告（２） リニューアルアンケート（はにぼん号利用者）

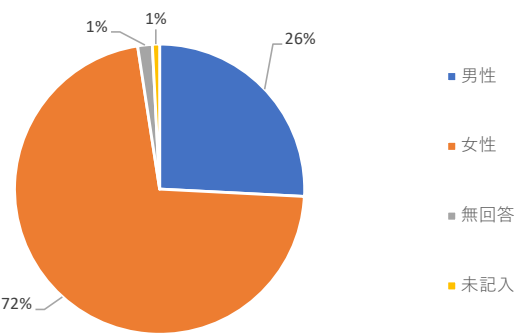
はにぼん号
利用者アンケート結果

アンケート期間：令和7年7～8月
回答者：123名

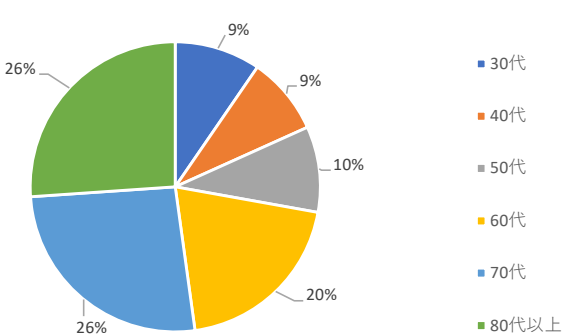
1－1 住まい



1－2 性別



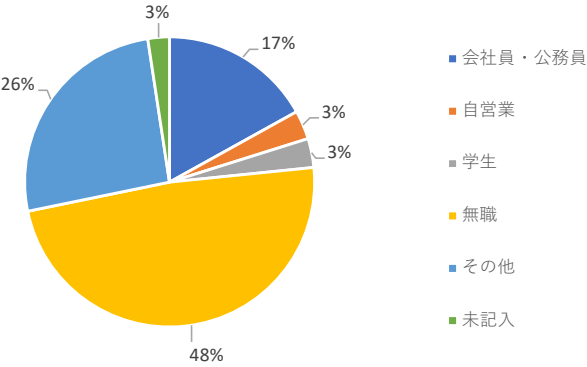
1－3 年齢



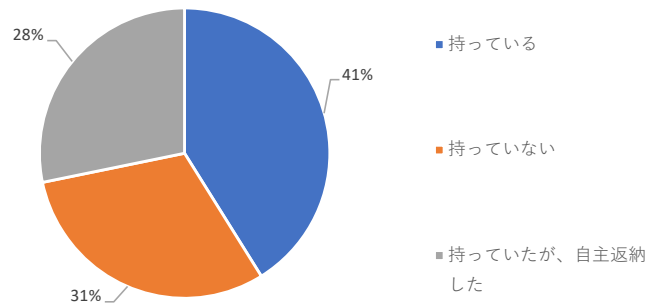
【参考 アンケート期間中の乗車処理
が行われた乗客の年代割合】

10代以下	33人（2%）
20代	49人（2%）
30代	121人（6%）
40代	91人（4%）
50代	205人（10%）
60代以上	1,164人（57%）
未選択	370人（18%）

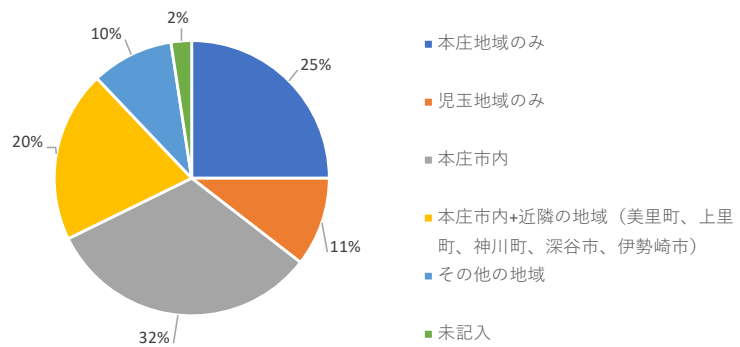
1－4 職業



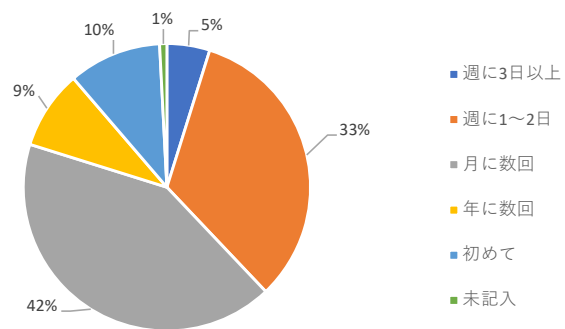
1 - 5 運転免許証



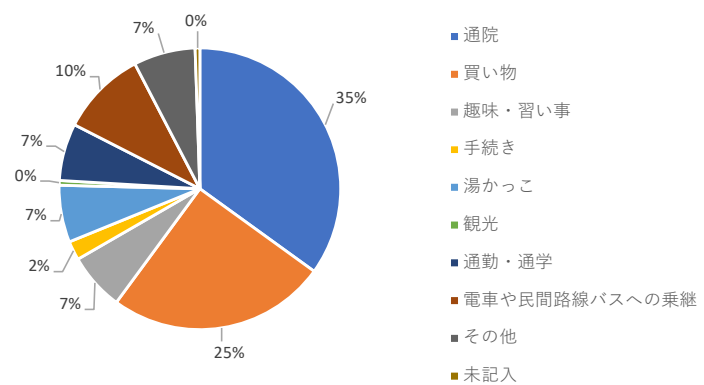
1 - 6 主な生活エリア



2 利用頻度



3 利用目的



【参考 R4市民意識調査】

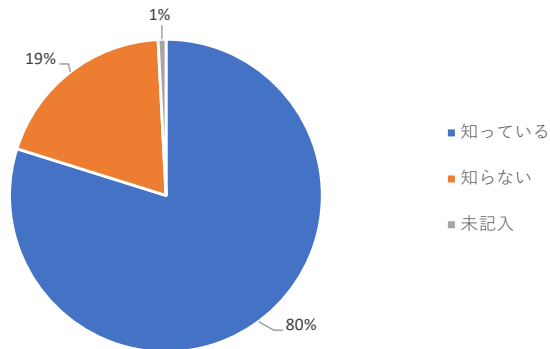
シャトルバスの認知度

R4 52.5%

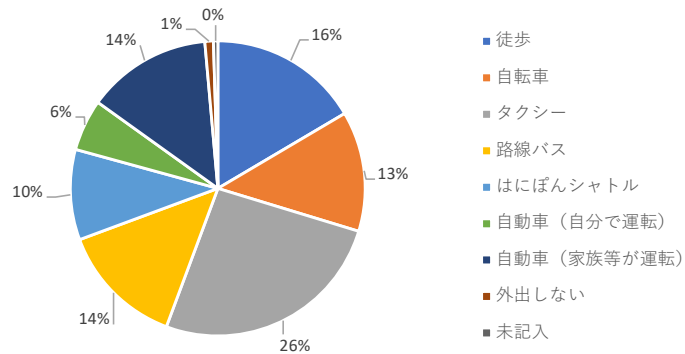
目標値（R9） 66%

※R5に策定した本庄市公共交通計画策
定時の調査との比較

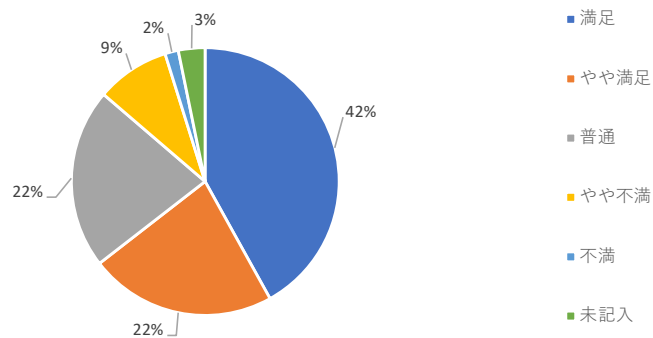
4 はにぼんシャトルの認知度



5 デマンドバス以外に普段利用する交通手段



6 運行時間・運行区域などの使い勝手



【R4 市民意識調査】

満足 16.1% } 31.3%

やや満足 15.2% }

普通 22.3%

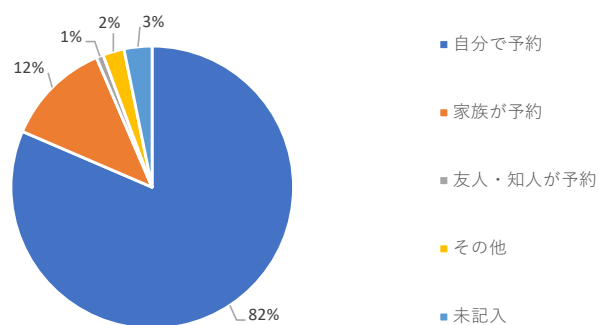
やや不満 19.6% }

不満 18.8% }

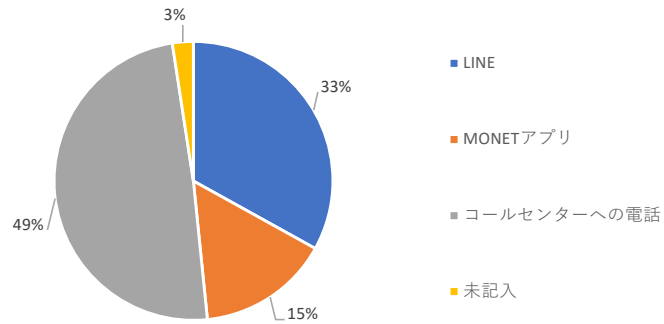
無回答 8.0%

※R5に策定した本庄市公共交通計画策
定時の調査との比較

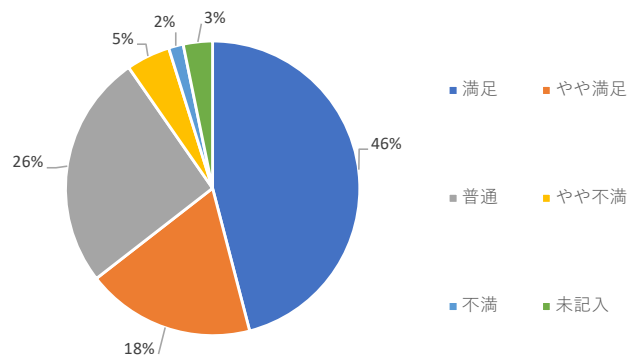
7 予約者



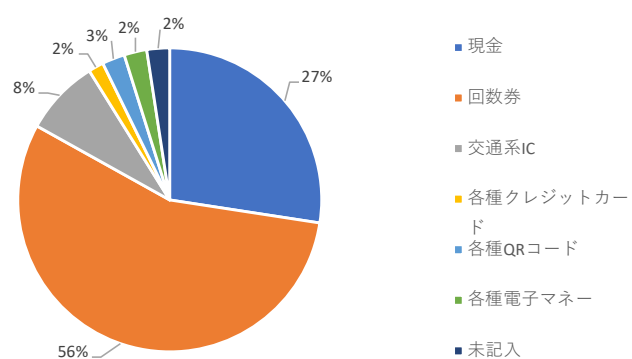
8 予約方法



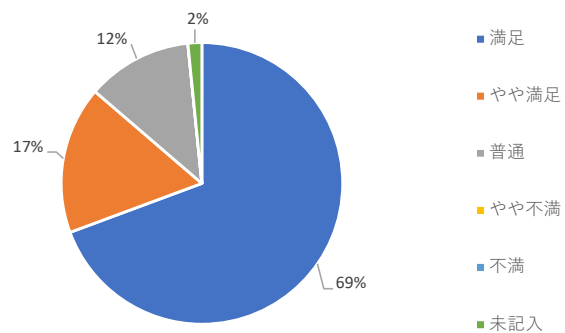
9 予約方法等に関する満足度



10 決済方法



11 居心地・接客に対する満足度



12 不満点、ご意見等

■不満点、ご意見

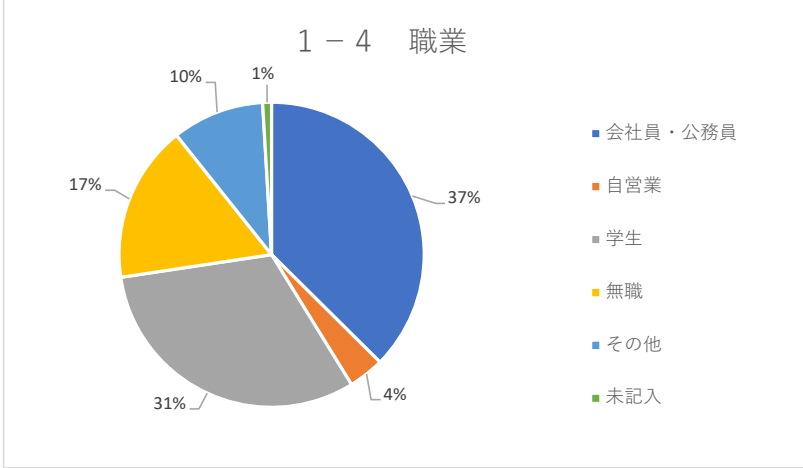
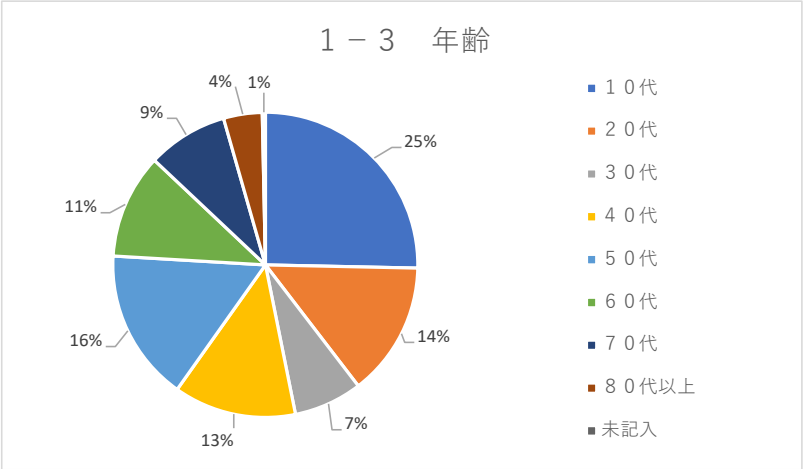
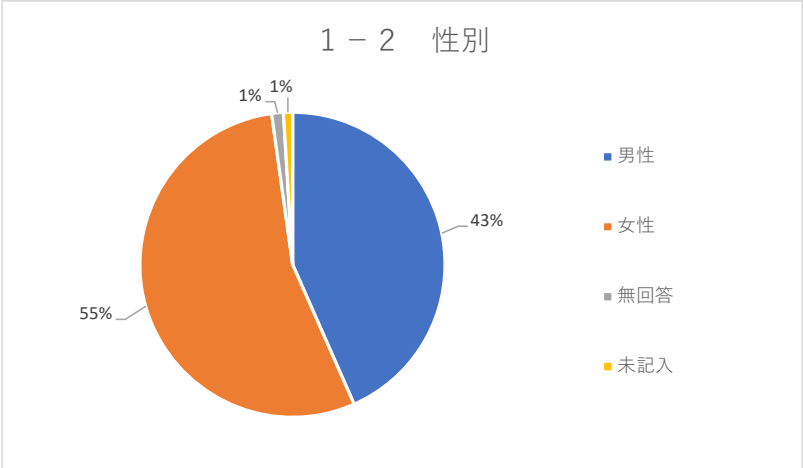
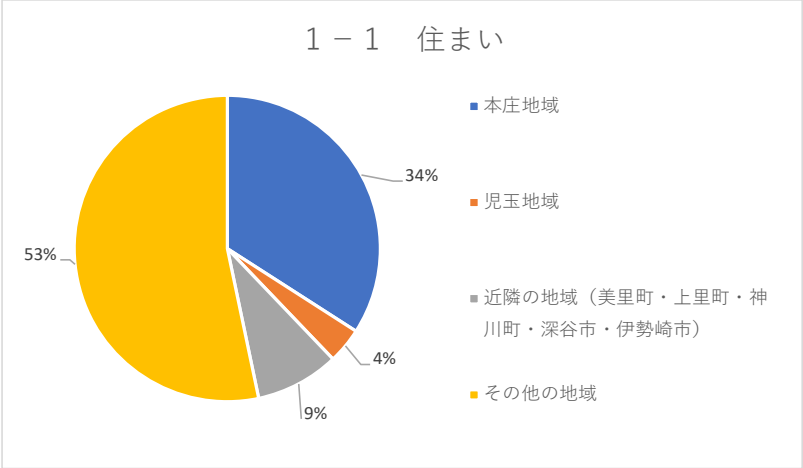
・素晴らしいサービスだと思います。運転手さん達のご丁寧な対応にいつも感謝しています。資金的に大変かもしれませんが、よろしければ、これからも続けて頂けると大変に助かります。 他はにぼん号やドライバーへの感謝の意見 20件

- ・利用する人が多いので時々自分の希望がとれない。 他満席による予約断念についての意見 8件
- ・台数を増やして頂けると嬉しいです。 他増便に関する意見 5件
- ・大人同伴の場合、子ども1人無料などあったらうれしいです。 他料金・割引・乗継券等に関する意見 4件
- ・予約センターの対応に時間がかかる。 他コールセンターに関する意見 3件
- ・スマホ購入予定なので、アプリで予約したい。勉強会を開いて欲しいです。 他説明会に関する意見 1件
- ・車が新しくなって快適。いつも時間に正確で助かる。駅を北口・南口の他に「どちらでも良い」を追加して欲しい。予約が取りにくいので、車の台数を増やして欲しい。値上げしてでも。 他システムに関する意見 1件
- ・LINEで予約できるようになって前より予約が取りやすくなりました。
- ・ドライバー指名できると良いと思う。
- ・近隣市町村と連携があると嬉しいです。あくまで希望です。
- ・飯倉農業センターの500m先に新たに停留所あがれば便利。（現在徒歩で20分かかる）
- ・本庄市内のどこにでも行けると良い。

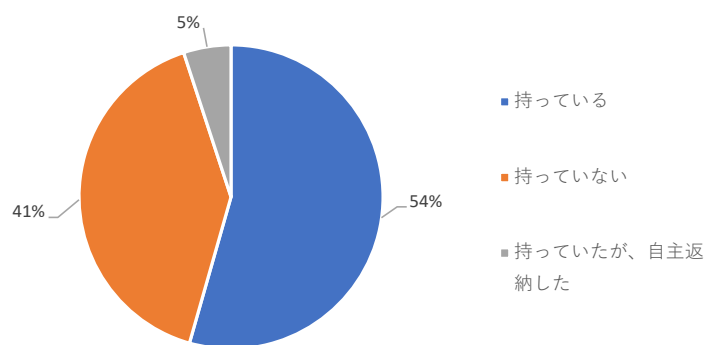
報告（２） リニューアルアンケート（はにぽんシャトル利用者）

はにぽんシャトル
利用者アンケート結果

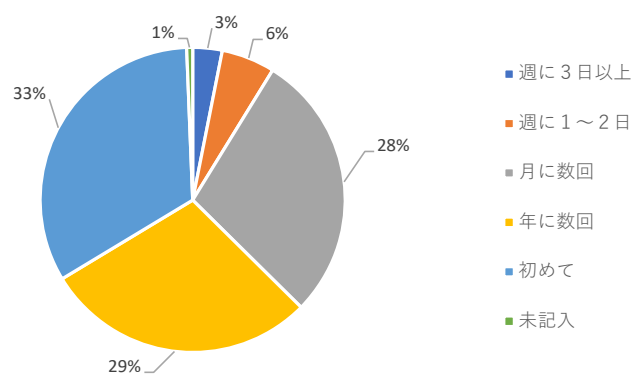
アンケート期間：令和 7 年 7 ～ 8 月
回答者数： 3 1 8 名



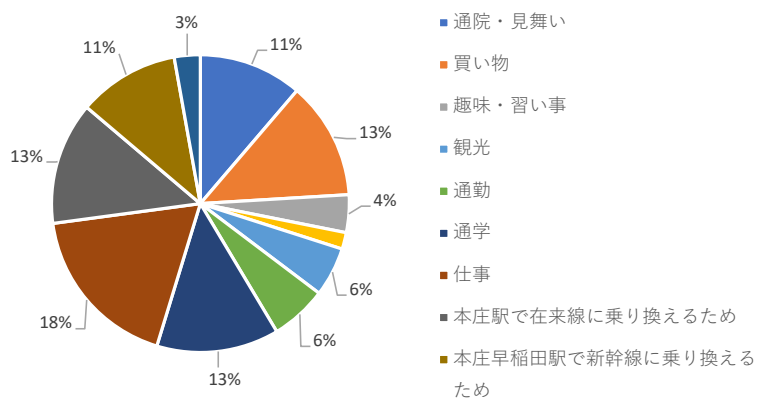
1 - 5 運転免許証



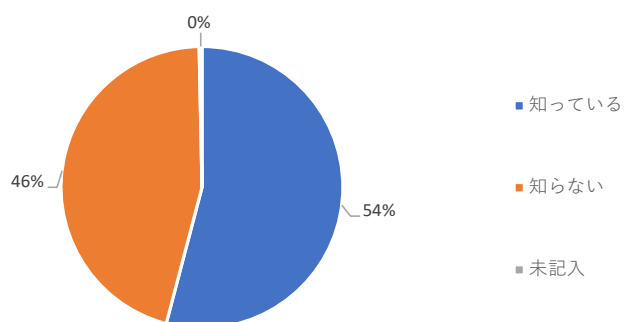
2 利用頻度



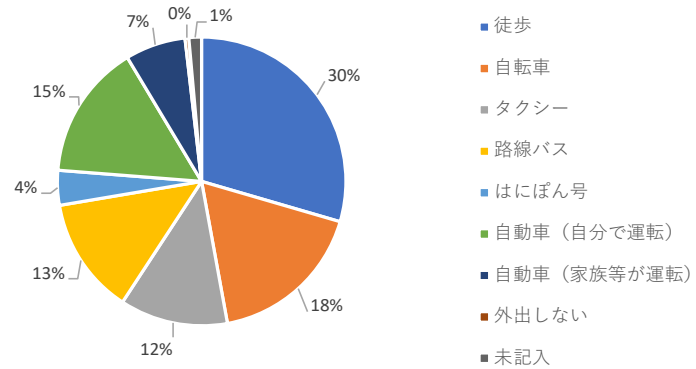
3 利用目的



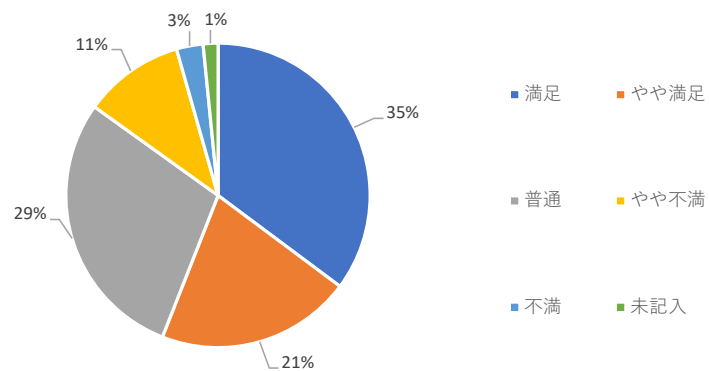
4 はにぽん号の認知度



5 はにぼんシャトル以外の交通手段



6 運行時間や運行区域などの使い勝手

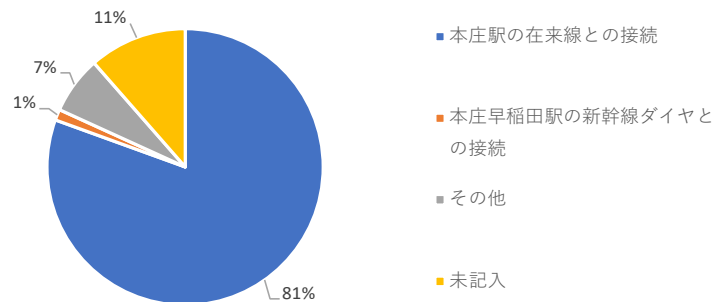


【参考 R4市民意識調査】

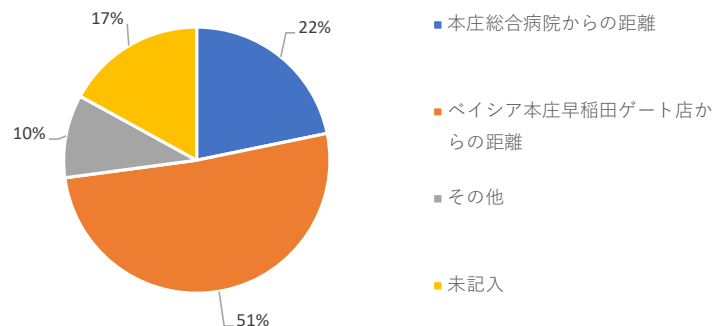
満足	20.2%	}	<u>34.2%</u>
やや満足	14.0%		
普通	28.1%	}	<u>35.1%</u>
やや不満	24.6%		
不満	10.5%		
無回答	2.6%		

※R5に策定した本庄市公共交通計画策定時の調査との比較

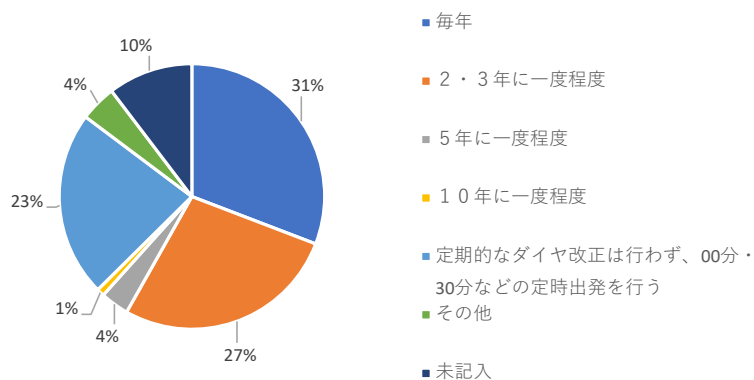
7 運行ダイヤについて優先順位が高いもの



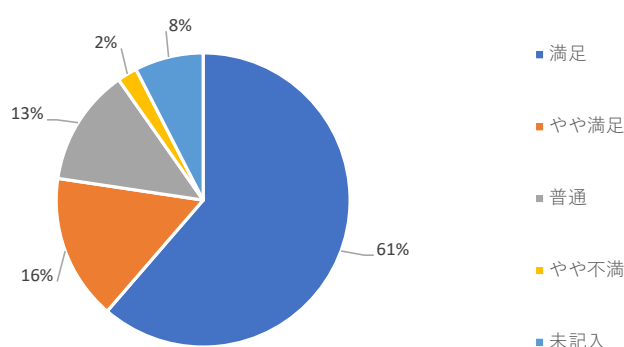
8 運行経路の優先順位



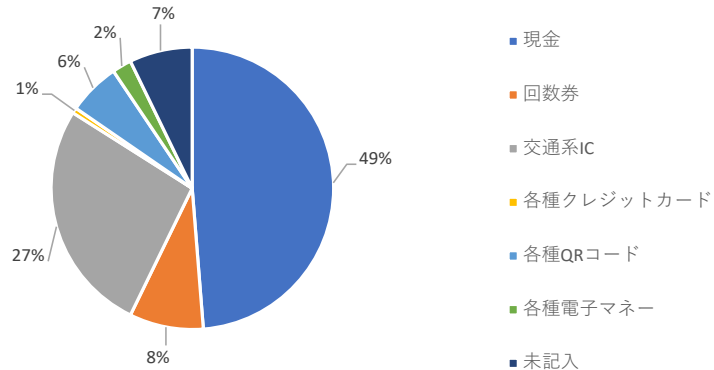
9 運行時間の見直し頻度



10 居心地・接客に対する満足度



11 決済方法



12 不満点、ご意見等

■不満点、ご意見

- ・朝と夕方に1本ずつ増便してもらいたい。 他 増便に関する意見 37件
- ・発車時刻5分前より前に来てくれ、安心して、運転手の方に目的停留所の事も聞けた。とても丁寧に対応してくれて、助かった。障害者手帳利用も丁寧に対応してくれた。 他にはぼん号やドライバーへの感謝の意見 31件
- ・新幹線の時間に合わせてもらいたい。 他増便に関する意見 8件
- ・もう少し座席があると良いです。 他座席に関する意見 8件
- ・上里のこむぎっち号のような車体、たくさんの人数が乗れる広い車にして欲しいです。 他バス車両に関する意見 8件
- ・大変便利に使っています。なくさないでください。 他継続に関する意見 7件
- ・料金が低い。藤岡や都内では約半額。 他料金に関する値下げ希望意見 3件
- ・少し値上げしても良い。 他料金に関する値上げ可能意見 3件

- ・北口からの路線も有ると望ましい。 他路線に関する意見 3件
 - ・本庄駅在来線との接続が良いと助かる。ただ、待ち時間は本庄市インフォメーションセンターへの誘導など、うまく時間を過ごせるような案内があるとより金が落ちるのではと思った。 他在来線との接続に関する調整希望の意見 3件
 - ・在来線とのつながりにとても助かります。 他在来線との接続に関する満足意見 2件
 - ・お祭りなどのイベント時は臨時でバスを増やして欲しい。利用数的にバスを増やすことは難しいかも知んですが、利用が多い時間帯に増やしてもらえるとありがたいです。いつもありがとうございます。 他臨時便に関する意見 1件
 - ・同じような路線バスの武蔵観光とダイヤがかぶらなければ良いと思います。いつもありがとうございます。
- 他武蔵観光バスとのダイヤ調整に関する意見 1件
- ・一人乗車の場合、停留所以外でも目的地近くで降ろしてもらえると助かる。
 - ・最終の時間が18:30とかなので、21:00ごろまでであると助かる。職場が20:00閉店のため、地方から来ている社員は、タクシーで毎回帰宅しています。
 - ・早大本庄の通学や下校時間とうまくかみ合っていないです。
 - ・乗継券で無料になるのは、とてもありがたいと思います。

報告（３） はにぼん号の日曜運行実証実験について

1 実証実験の目的

はにぼん号の需要調査のため

2 実証実験の実施日、実施時間及び予約方法について

ア 実施日 8日間

令和7年10月5日、12日、19日、26日（日） 4日間

11月2日、9日、16日、23日（日） 4日間

イ 実施時間 午前8時～午後5時

ウ 予約方法 1週間前から電話予約、LINE 予約及びアプリ予約

3 実証実験の周知について

広報ほんじょう 令和7年9月号

市公式ホームページ

はにぼん号の車内掲示

4 実施車両について 本庄1号及び児玉1号

5 利用者数について 117人

	10.5	10.12	10.19	10.26	11.2	11.9	11.16	11.23	計
本庄1号	8	11	12	7	17	6	12	12	85
児玉1号	2	1	1	4	4	1	14	5	32

単位：人

6 利用者アンケートについて 次ページから参照

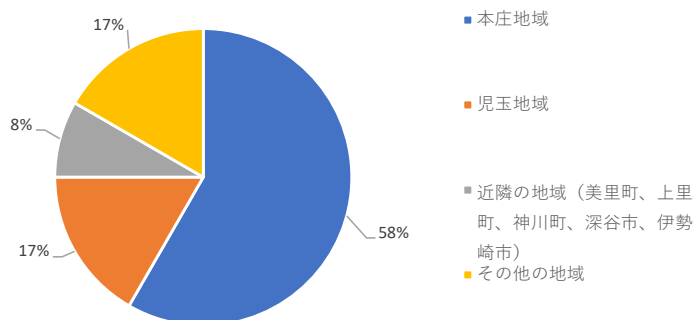
はにぼん号 日曜日運行（実証実験）
利用者アンケート結果

アンケート期間：令和7年10月5日～
令和7年11月23日
までの8日間

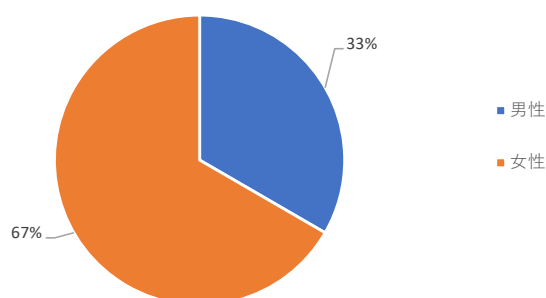
回 答 者： 12名
期間内乗車人数：117名

（アンケート回答について）
アンケート回答については、期間内に複数
回乗車した場合でも、1名あたり1回のみの
回答としています。

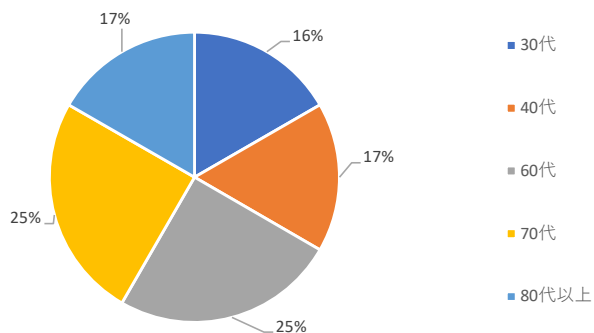
1-1 住まい



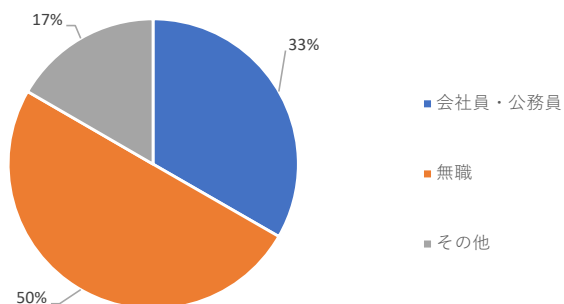
1-2 性別



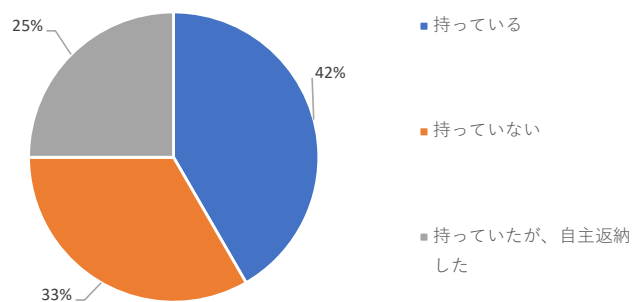
1-3 年齢



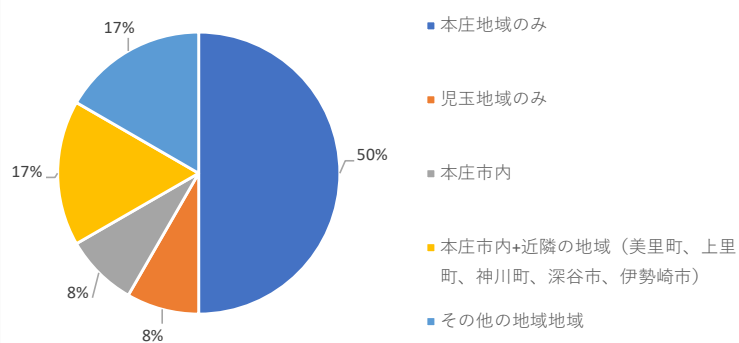
1-4 職業



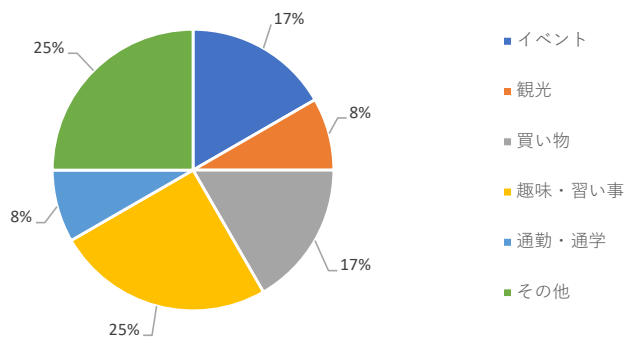
1 - 5 運転免許証



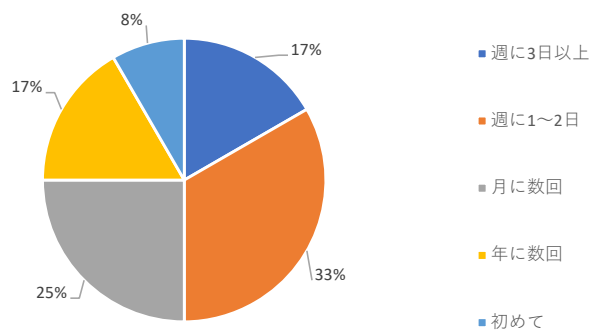
1 - 6 主な生活エリア



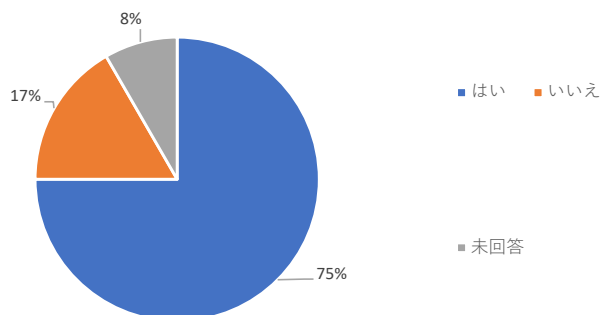
2 利用目的



3 利用頻度

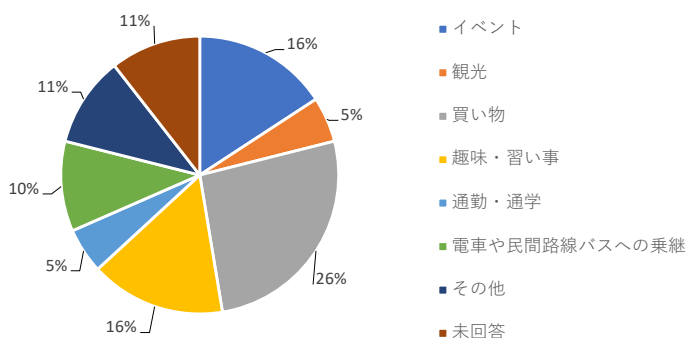


4 年間を通して、日曜日運行を希望するか

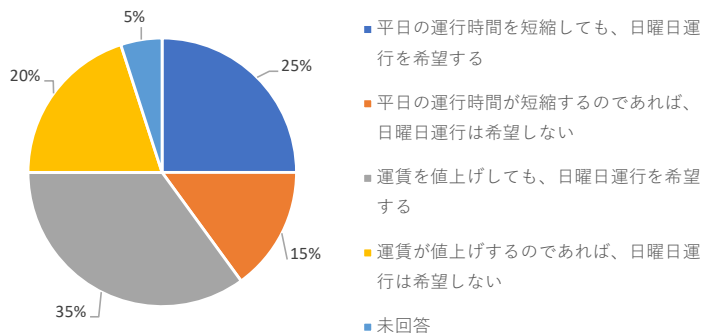


5 日曜日運行がされた場合の利用目的

(Q4に「はい」と答えた方のみ)



6 日曜日運行に対する考え



9 不満点、ご意見等

- ・前日では、予約がなかなかとれない。
- ・暑い&寒い時期だけでも運行があると嬉しいです。車が無い時ありがたく使わせてもらっています。通勤で利用したりしますが、電車が5分くらい遅れて乗れないことがありました。運転手に少し待ってもらうことが可能になれば嬉しいです。一度も乗合になったことがないので、乗合を廃止してみてはどうですか？（乗車時間短縮になる）
- ・人によって様々ですが全般に運転手の対応が不十分です。あいさつ人として思いやりが不足しているので改善して欲しいです。市民の皆様に対しても良い運転手と言われるように心がけてください。運賃の値上げは反対です。日曜・祝日運行が出来れば良いと思います。日曜日の実証実験をもう少し長い期間やってほしいです。

報告（４） はにぼん号バス停の新設等報告

はにぼん号のバス停留所については、随時、新設・移転・名称変更の申し出を受け付けています。基本的には、公共施設や医療機関、商業施設など日常生活に欠かすことができない施設には設置することとしています。

○ 新設 1

バス停 No	4 5 2	バス停名	くりた歯科クリニック
バス停位置	小島南2丁目地内	設 置 日	1 0 月 1 5 日
備 考	医療機関のため設置（クリニックからの設置申出）		



○ 新設 2

バス停 No	4 5 3	バス停名	おはなデンタルクリニック
バス停位置	前原1丁目地内	設 置 日	1 2 月 1 5 日
備 考	医療機関のため設置（クリニックからの設置申出）		



○ 名称変更 1

変更前バス停名	ベイシアマート本庄児玉店		
変更後バス停名	オトナリマート本庄児玉店		
バス停 No	6 3 6	バス停位置	児玉町児玉南 2 丁目地内
変 更 日	9 月 1 日	備 考	店名変更による



議事（１）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

協議会名： 本庄市交通政策協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
朝日自動車（株） 本庄駅南口～児玉折返し 場・赤城乳業千本さくら工 場	〔起点〕 本庄駅南口 〔主な経由地〕 連雀町・児玉高校 〔終点〕 児玉折返し場・赤城乳業千本 さくら工場	①令和6年9月～10月と令和7 年3月～4月の共通学生フリー パス販売時期に合わせ沿線学 校や、自社ホームページ及び バス車内で周知し、販売促進を 図った。 ②赤城乳業のHPに交通手段を 掲載し、工場見学者の利用を 促進した。	A 事業が計画に位置付けられ た通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標164,594人に 対して実績は153,390人とな り目標達成には至らなかった。 未達理由として、学生の利 用が減少したことが理由と 考えられる。	・引き続き共通学生フリーパス の販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図 る。 ・赤城乳業工場見学者へのPR 活動を実施。
朝日自動車（株） 宮本町車庫～児玉折返し 場・赤城乳業千本さくら工 場	〔起点〕 宮本町車庫 〔主な経由地〕 本庄駅南口・連雀町・児玉高 校 〔終点〕 児玉折返し場・赤城乳業千本 さくら工場	①令和6年9月～10月と令和7 年3月～4月の共通学生フリー パス販売時期に合わせ沿線学 校や、自社ホームページ及び バス車内で周知し、販売促進を 図った。 ②赤城乳業のHPに交通手段を 掲載し、工場見学者の利用を 促進した。	A 事業が計画に位置付けられ た通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標72,853人に対 して実績は68,271人となり 目標達成には至らなかった。 未達理由として、学生の利 用が減少したことが理由と 考えられる。	・引き続き共通学生フリーパス の販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図 る。 ・赤城乳業工場見学者へのPR 活動を実施。
朝日自動車（株） 本庄駅南口～神泉総合支 所	〔起点〕 本庄駅南口 〔主な経由地〕 小島南・沖電気前 〔終点〕 神泉総合支所	①令和6年9月～10月と令和7 年3月～4月の共通学生フリー パス販売時期に合わせ沿線学 校や、自社ホームページ及び バス車内で周知し、販売促進を 図った。	A 事業が計画に位置付けられ た通り、適切に実施された。	A 輸送人員目標186,218人に 対して実績は206,913人とな り目標達成となった。 達成理由として、沿線施設 への利用が増加したことが 理由と考えられる。	・引き続き共通学生フリーパス の販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図 る。

事業実施と地域公共交通計画との関連について

協議会名：	本庄市交通政策協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	【本庄市地域公共交通計画の基本方針】 ① 安全・安心でより利便性の高い公共交通サービスの提供 ② 輸送資源を最大限に活用した公共交通体系の維持・確保 【地域間幹線系統維持の目的・必要性】 本市では、東西方向には鉄道による広域幹線があるものの南北を結ぶ公共交通は少なく、地域間幹線バス「神泉総合支所線」は、本庄駅と近隣市町の拠点間を連絡し、通勤・通学、通院、買物等日常生活における移動や趣味・旅行など近隣市町から本市へのアクセス手段の一つになっている。また、地域間幹線バス「児玉折返し場線」は、本庄地域と児玉地域を定時定路線で結ぶ唯一の公共交通となっており、公共交通ネットワークを構築する上で重要な役割を担っている。一方で、本市や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（幹線補助）により運行を維持・確保することが必要である。

令和7年度 本庄市における地域公共交通確保維持改善事業

陸上交通

地域間幹線系統

協議会名・補助対象事業者名

本庄市交通政策協議会
朝日自動車株式会社

系統名

本庄駅南口～小島南・沖電気前～神泉総合支所

事業の目的・必要性

- 本市では、東西方向には鉄道による広域幹線があるものの南北を結ぶ公共交通は少なく、地域間幹線バス「神泉総合支所線」は、本庄駅と近隣市町の拠点間を連絡し、通勤・通学、通院、買物等日常生活における移動や趣味・旅行など近隣市町から本市へのアクセス手段の一つとなっている。また、地域間幹線バス「児玉折返し場線」は、本庄地域と児玉地域を定時定路線で唯一の公共交通となっており、公共交通ネットワークを構築する上で重要な役割を担っている。
- 一方で、本市や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を維持・確保することが必要である。

事業の概要・目標・効果

●路線名

本庄駅南口～小島南・沖電気前～神泉総合支所線

●起点、経由地、終点

起点：本庄駅南口、経由地：小島南・沖電気前、終点：神泉総合支所

●系統キロ

20.1km

●運行回数等

19.3回

●目標・効果

生活交通として必要なバス路線を維持することによって、県民の最も身近な公共交通機関として重要な役割を担う乗り合いバスの充実を図る。
当該事業の活用によりバス路線が維持確保されることとなり、事業対象期間中延べ186,218人（輸送人員ベース）の県民の移動手段の確保が見込まれる。

●利用促進・生産性向上の取り組み

①共通学生フリーパス（定期）の販売促進 ②沿線施設との企画乗車券の検討

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員（人）	148,649	182,618	206,913
経常収支（千円）			
収支率（％）			
平均乗車密度（人）	3.2	2.8	3.1
補助金額（千円）	8937.5	11279.5	10598.5

目標・効果の達成状況

【達成状況】

輸送人員の目標186,218人に対して実績は206,913人となり目標達成となった。

【目標を達成できた要因（分析）】

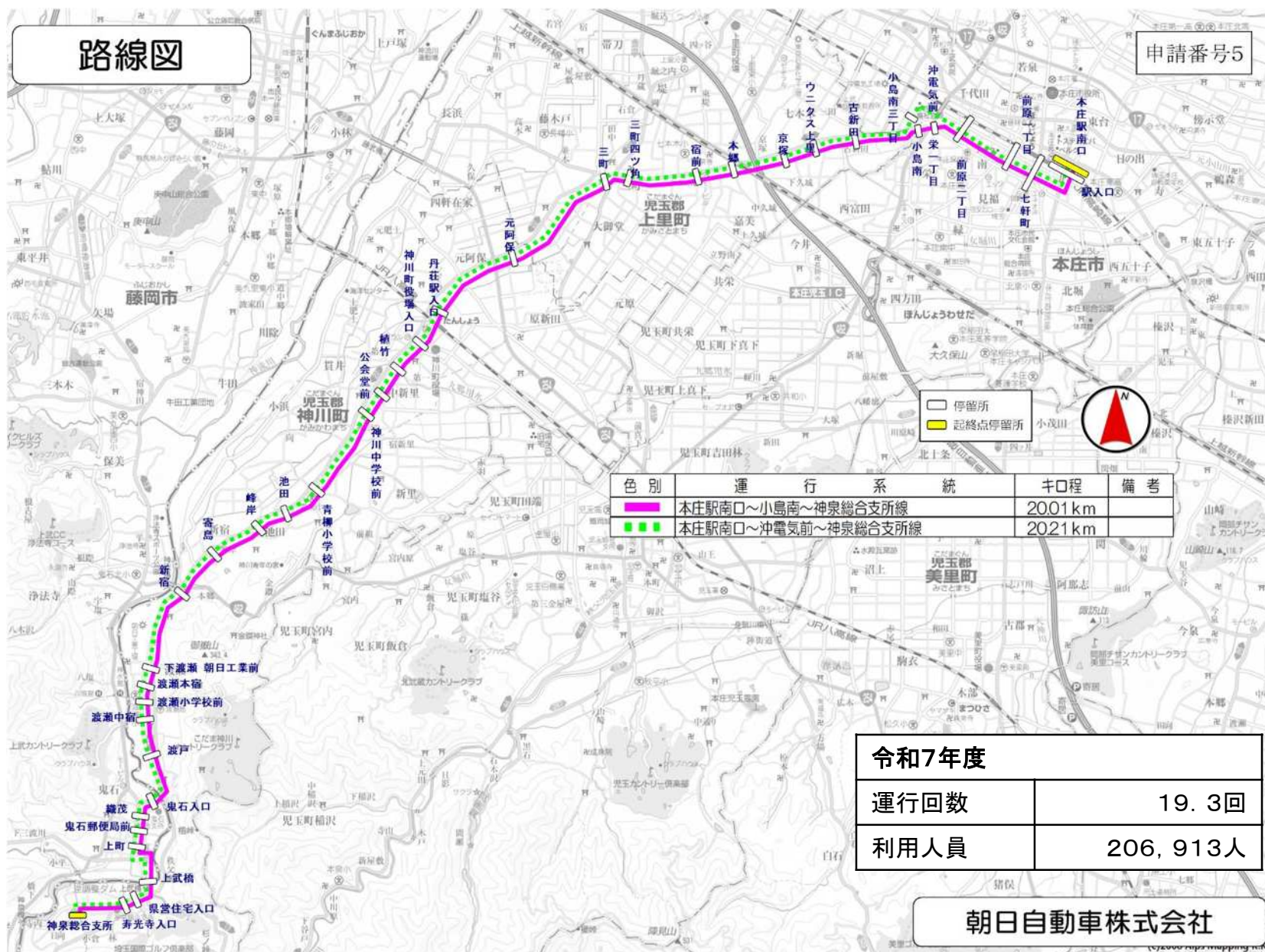
沿線施設への利用が増加したことが理由と考えられる。

今後の改善点

- ・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。
- ・路線延伸を継続し、接続する神川町営バスとのシナジー効果を狙う。
- ・スマホ定期券の販売促進を図る。

※補助対象事業者毎に作成 系統については代表的なものを任意に1系統選定

事業実施区域



議事（2） 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

協議会名： 本庄市交通政策協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
朝日自動車（株）	R6.10～R7.2 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域：本庄北地域・1台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：300円	令和7年3月にAIオンデマンド型交通システムを導入するとともに、コールセンター機能の充実や営業区域の統合、営業時間の拡大、ワゴン型車両への統一化、キャッシュレス決済の導入など、利便性を向上させる取組によって、利用者数は目標値を大きく上回った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 目標①利用者数：10,711人 実績：11,165人 分析：AIオンデマンド型交通システムの導入や営業区域の統合などの見直しにより、利用者数は増加している。 目標②予約不成立件数：900件 実績：641件 分析：AIオンデマンド型交通システムの導入等によって利便性が向上し、合わせて乗合率も向上したことによって、予約不成立件数は、目標を達成した（昨年度比▲59件）。本庄地域では、利用者数が急増しているため、予約が取りづらい状況があり、予約不成立件数の増加要因が潜んでいるものと考えられる。 目標③収支率：5.8%以上 実績：7.8% 分析：利用者数の増加に加え、運賃の見直し（値上げ）を実施したため、収支率は改善している。	はにぼん号全体の利用者数は目標を達成したが、児玉地域の利用者数が伸び悩んでいる状況なので、児玉地域住民に対して、はにぼん号の認知度を向上させ、新規利用者を発掘するなど、児玉地域はにぼん号の利用者を増加させる取り組みが必要である。
	R6.10～R7.2 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域：本庄南地域・1台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：300円				
	R6.10～R7.2 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域：児玉市街地・1台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：300円				
	R6.10～R7.2 デマンド型交通「もといずみ号」 営業区域：児玉山間地域・1台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：300円				
	R7.3 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域：本庄/児玉地域・各2台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：400円				
	R7.4～9 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域：児玉地域・1台 運行日：月曜日～土曜日 運行時間帯：8～17時 運賃：400円				

本庄タクシー(株)	R7.4～9 デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:本庄地域・2台 運行日:月曜日～土曜日 運行時間帯:8～17時、8～18時 運賃:400円		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
本庄観光(株)	R6.10～R7.3 本庄シャトル便「はにぼんシャトル」 系統:本庄駅南口～本庄早稲田駅北口(3km) 運行回数:13.5回/日 運賃:200円	はにぼんシャトルの時刻表の定期的な見直しについては、アンケート調査において、定期的な見直しは約6割が希望している状況であるが、その見直し時期や見直し方法の設問では様々な意見があるために、見直しは見送り、今後も、アンケート調査など利用者ニーズの把握に努めるとともに、利便性の向上に取り組むこととする。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標をほぼ達成した。 目標①利用者数:10,426人 実績:14,800人 分析:公園イベントなどと連携してバス利用の促進を図ることに加え、マリーゴールドの花のラッピングやキャッシュレス決済の導入など認知度や利便性の向上に努めたことによる。	はにぼんシャトル利用者が目標を大きく上回る実績だったが、一方で、定員超過に伴って乗車できない利用者が見受けられるので、その対応を調査研究する必要がある。
庄和観光バス(株)	R7.4～R7.9 本庄シャトル便「はにぼんシャトル」 系統:本庄駅南口～本庄早稲田駅北口(3km) 運行回数:13.5回/日 運賃:200円		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標②収支率:18.1%以上 実績:17.1% 分析:利用者数の増加により、営業収益は増加したが、物価高騰等に伴って、それ以上の営業費用の増加によって、収支率目標の達成には、少し届かなかった。	

事業実施と地域公共交通計画との関連について

協議会名：	本庄市交通政策協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	【本庄市地域公共交通計画の基本方針】 ① 安全・安心でより利便性の高い公共交通サービスの提供 ② 輸送資源を最大限に活用した公共交通体系の維持・確保 【上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性】 超高齢社会の到来により、将来にわたって安心して利用できる公共交通への需要が高まっており、今ある輸送資源を最大限に活用することも視野に、本市の公共交通体系を維持・確保するためには、基軸となる路線バスに接続するフィーダー系統の運行が必要である。

令和7年度 本庄市交通政策協議会（埼玉県本庄市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

現在、本市の主要拠点間の移動手段は、本庄地域と児玉地域(平成18年に本庄市と児玉町との合併により現本庄市となる。)の間を結ぶ路線バスが担っている。しかし、急速な少子高齢化の進展や人口の減少、マイカーの利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持・確保が課題となっている。シャトルバスは本庄駅と本庄早稲田駅を結ぶ駅間輸送を担い、デマンドバスは市内を2つの区域に分け、鉄道や路線バスへの接続と日常生活における移動を面的に担っている。



一部山村指定

補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

【デマンドバス】

・地域公共交通計画の利用者目標を達成しているものの、児玉地域は利用者数が少ない現状である。児玉地域住民に対して、新規利用者を発掘するなど、児玉地域はにぼん号の利用者を増加させる取り組みが必要である。

【シャトルバス】

・マリーゴールドの丘イベントと連携するなどにより、認知度が向上したものと考えている。利用者数が大きく上昇したので、バス定員を超過する利用者がバス待ちする状況があった。今後は、その対策が必要である。

面積	89.69 km ²
人口（R7.4.1時点）	76,429人
15歳未満	8,138人
65歳以上	22,844人
高齢化率	29.9%

定量的な目標

- 利用者数（利用実績値の向上） ・ デマンドバス：10,711人 ・ シャトルバス：10,426人
- 予約不成立件数（運行サービスに対する利用者満足度の向上） ・ デマンドバス：900件（現状より減少）
- 収支率（公共交通体系の維持・確保） ・ デマンドバス：5.8%以上 ・ シャトルバス：18.1%以上

交通計画の計画期間

令和5年4月～令和10年3月

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

【デマンドバス】

・令和7年2月に営業区域を4区域から2区域に統合し、3月にはAIオンデマンド型交通システムを導入するとともに、運賃の見直し、キャッシュレス決済の導入などバス利用者の利便性向上に努めた。
・交通空白地解消に向けた取組において、自治会長との連携によってデマンドバスの認知度を向上させるとともに、利便性向上に努めて、児玉地域のバス利用者を増加させたい。

【シャトルバス】

・本庄市マスコット「はにぼん」のバスラッピングに加えて、令和7年4月からマリーゴールドの花をラッピングして、デマンドバスとの差別化を図った。
・定員超過に伴って乗車できない利用者が見受けられるので、その詳細を調査するなど対策に繋げる。

協議会開催状況

令和6年度
第1回(R6.5.17)
地域公共交通計画の認定申請を承認
第4回(R6.11.1)
地域公共交通計画の変更申請を承認
第5回(R7.1.20)
地域公共交通計画の変更申請を承認
令和7年度
第1回(R7.5.16)
地域内フィーダー系統補助金交付申請を承認
第2回(R8.1.28)
地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価を承認

アピールポイント

デマンドバス及びシャトルバスでは、高齢者や運転免許返納者が高割引率で購入できる回数乗車券や障害者割引制度が用意されている。また、路線バス(地域間幹線系統)やデマンドバス、シャトルバス(フィーダー系統)の相互乗り継ぎを促進させるため、乗継割引制度も用意されている。

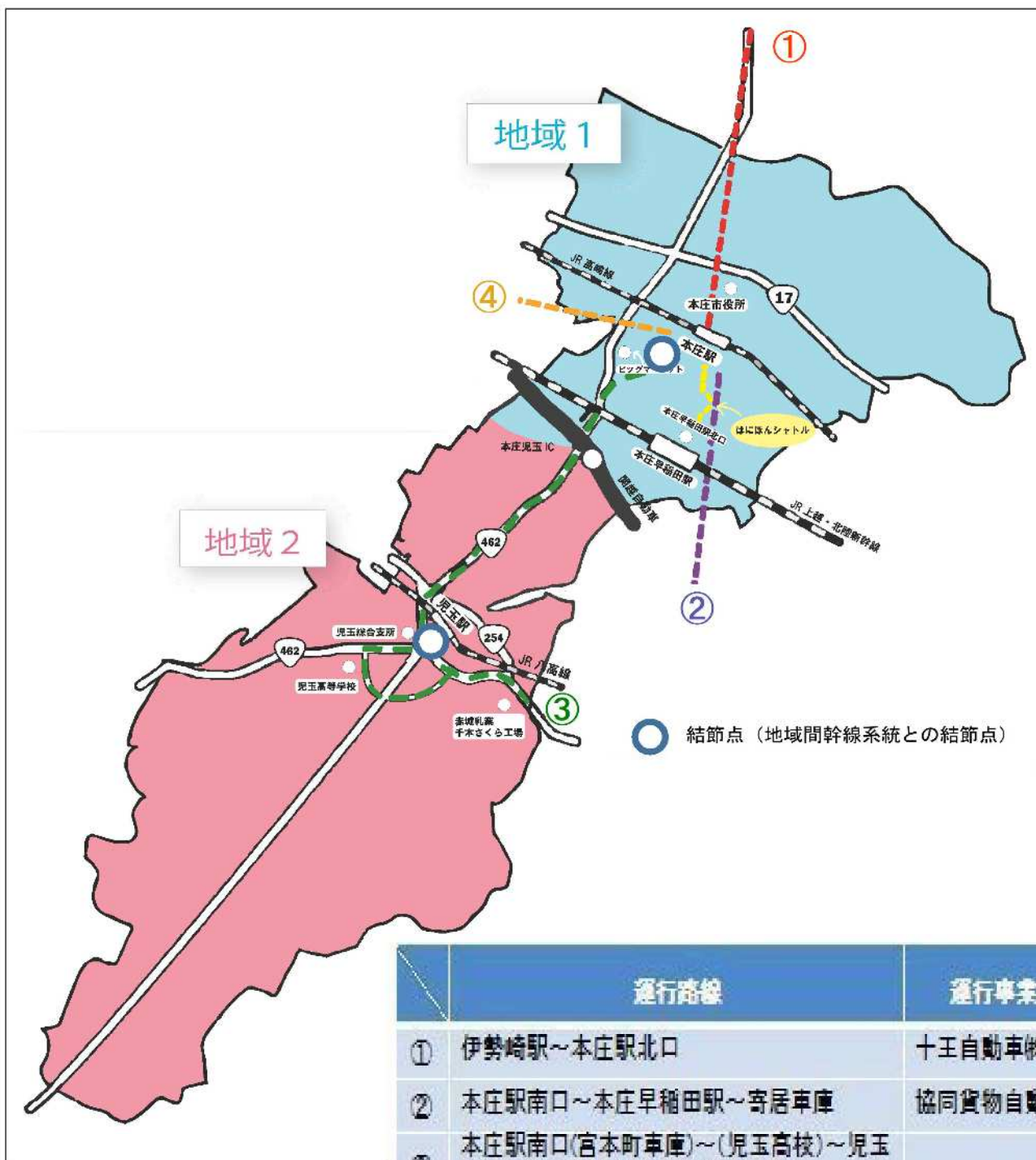
○参考資料として以下の資料を添付

- ・地域の公共交通体系図(鉄道、民間路線バス、コミバス 等)
- ・補助対象事業の運行系統図・区域図
- ・補助対象事業の実績データ(利用者数、収支 等)
- ・その他参考となる資料(利用促進の取組 等)

市内公共交通の概要 補助対象事業の運行系統図・区域図

デマンドバス運用地域

本庄地域	地域 1 を「本庄地域」とする。
児玉地域	地域 2 を「児玉地域」とする。 地域 2 並びに地域 2 に近接する「ビッグマーケット」及び「本庄早稲田駅北口」に設置する乗降ポイント間を運行する。



	運行路線	運行事業者
①	伊勢崎駅～本庄駅北口	十王自動車㈱
②	本庄駅南口～本庄早稲田駅～寄居車庫	協同貨物自動車㈱
③	本庄駅南口(宮本町車庫)～(児玉高校)～児玉折返し場～赤城乳業千本さくら工場	朝日自動車㈱
④	本庄駅南口～神泉総合支所	

本庄シャトル便 路線図

<路線概要>

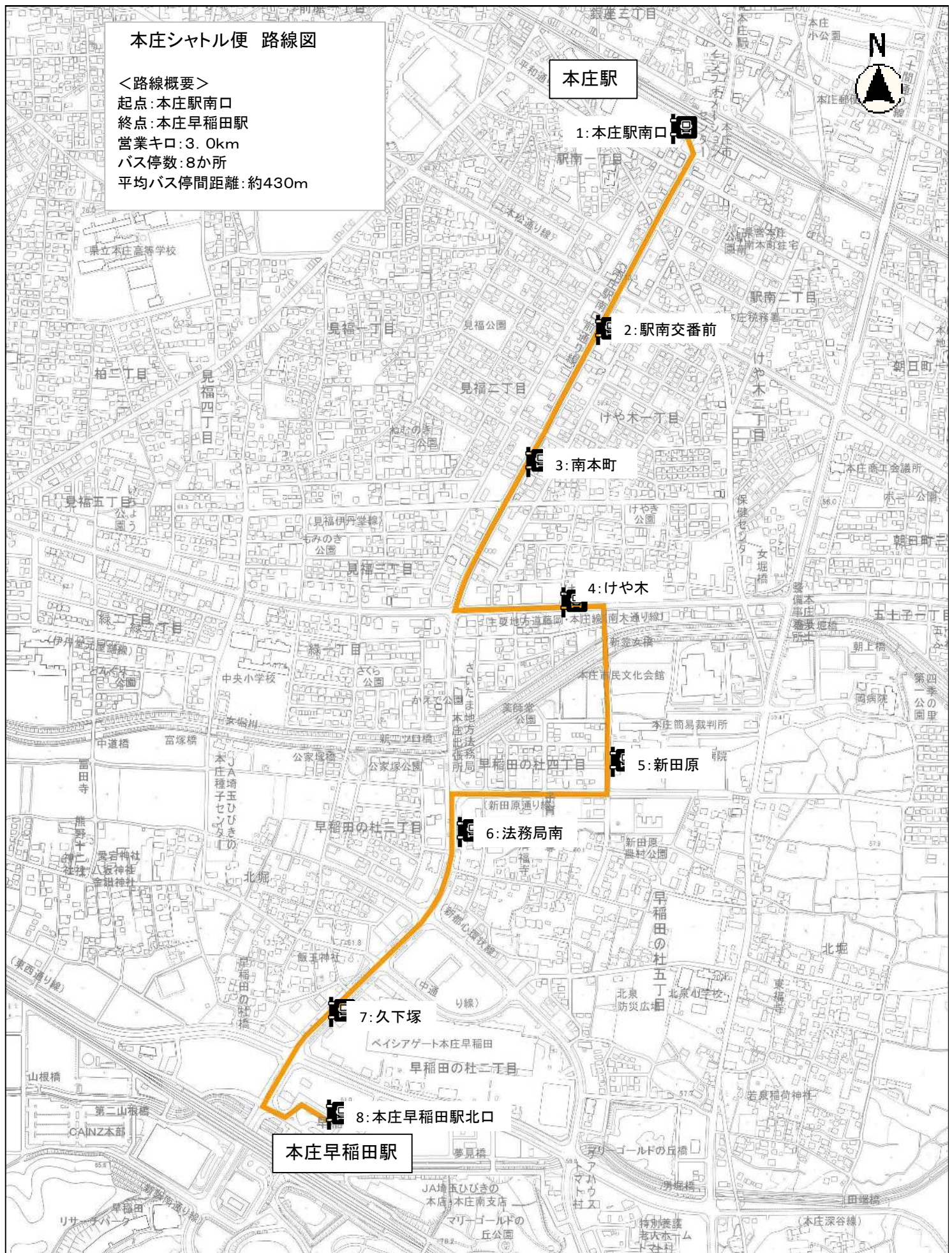
起点:本庄駅南口

終点:本庄早稲田駅

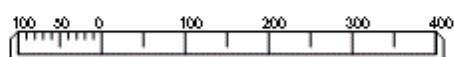
営業キロ:3.0km

バス停数:8か所

平均バス停間距離:約430m



縮尺 1 : 9000



デマンド交通・シャトル便 利用者数
(令和7年度 地域公共交通計画)

①デマンド交通(はにぼん号・もといずみ号) 利用者数

		令和6年			令和7年								合計	参考 (R5年度)	前年比	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				9月
運行日数		26日	24日	24日	23日	22日	25日	25日	24日	25日	26日	25日	24日	293日	291日	
はにぼん号 (本庄北/本庄1号車)	月間人数	345	338	355	292	307	375	426	441	427	443	396	376	4,521	4,297	5.2%
	1日平均	13.3	14.1	14.8	12.7	14.0	15.0	17.0	18.4	17.1	17.0	15.8	15.7	15.4	14.8	4.3%
	月間回数						288	327	315	291	310	287	267	297.9		
はにぼん号 (本庄南/本庄2号車)	月間人数	378	363	354	312	306	361	505	461	460	497	433	414	4,844	3,849	25.9%
	1日平均	14.5	15.1	14.8	13.6	13.9	14.4	20.2	19.2	18.4	19.1	17.3	17.3	16.5	13.2	25.2%
	月間回数						291	370	357	313	343	304	294	324.6		
はにぼん号 (児玉市街地/児玉1号車)	月間人数	148	132	115	93	115	78	60	70	63	61	33	45	1,013	1,856	-45.4%
	1日平均	5.7	5.5	4.8	4.0	5.2	3.1	2.4	2.9	2.5	2.3	1.3	1.9	3.5	6.4	-46.0%
	月間回数						67	55	66	56	59	28	41	53.1		
もといずみ号 (児玉山間/児玉2号車)	月間人数	53	46	31	38	35	66	66	98	88	92	92	82	787	559	40.8%
	1日平均	2.0	1.9	1.3	1.7	1.6	2.6	2.6	4.1	3.5	3.5	3.7	3.4	2.7	1.9	41.4%
	月間回数						39	50	72	78	80	72	75	66.6		
市内合計	月間人数	924	879	855	735	763	880	1,057	1,070	1,038	1,093	954	917	11,165	10,561	5.7%
	1日平均	35.5	36.6	35.6	32.0	34.7	35.2	42.3	44.6	41.5	42.0	38.2	38.2	38.1	36.3	5.0%
	月間回数						685	802	810	738	792	691	677	742		
	月間乗合率						1.28	1.30	1.31	1.38	1.38	1.37	1.36	1.34		

②シャトル便(はにぼんシャトル) 利用者数

		令和6年			令和7年								合計	参考 (R5年度)	前年比	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				9月
運行日数		31日	30日	31日	31日	28日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	30日	365日	365日	
シャトル便	月 間	1,418	1,130	1,248	974	886	1,072	1,232	1,283	1,199	1,454	1,327	1,577	14,800	11,392	29.9%
	1日平均	45.7	37.7	40.3	31.4	31.6	34.6	41.1	41.4	40.0	46.9	42.8	52.6	40.5	31.2	30.0%

デマンドバスの予約不成立件数（令和6年10月～令和7年9月）

■本庄市地域公共交通計画

評価指標④ 現状値：1,000件/年 目標値：900件/年

○令和6年10月～令和7年2月（予約センター受付で集計）
予約不成立件数 266件

○令和7年3～9月（コールセンター受付でシステム集計）
※令和7年3月にAIオンデマンド型交通システムを導入したこと
に伴い、「未予約」の期間合計値に50.5%を乗じた数を実績
代替値として予約不成立件数とみなす。（令和7年第1回本庄市
交通政策協議会にて承認済：令和3年4月から令和7年2月までの
各年度における予約不成立合計件数に対する当日不成立件数の
割合が50.5%による）

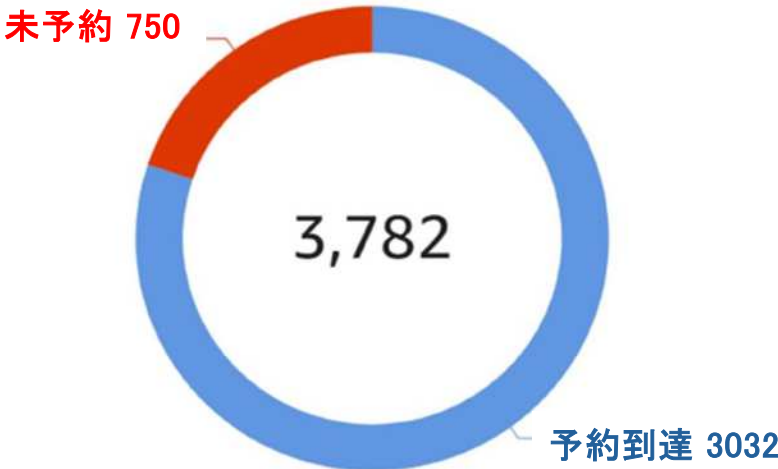
令和7年3～9月の未予約件数 750件
予約不成立件数（実績代替値） 375件 = 750件 × 50.5%

令和6年10月～令和7年2月の実績値266件
+ 令和7年3～9月の実績代替値375件
= **R7年度予約不成立件数 641件（昨年度比▲59）目標達成**

R6.10～R7.2（受付集計）

	8～10時	10～12時	13～15時	15～17時	計
本庄北地域	14	30	28	24	96
本庄南地域	25	47	51	38	161
児玉市街地	2	4	2	1	9
児玉山間地域	0	0	0	0	0
合 計					266

R7.3～9（システム集計）



はにぽんシャトル利用促進の取組

令和6年10月から「本庄駅北口」バス停に掲示



○料金

大人(中学生以上)	200円
小学生	100円
未就学児(要同伴者)	無料

※乗車時に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、本人と介護者1人は100円割引になります。

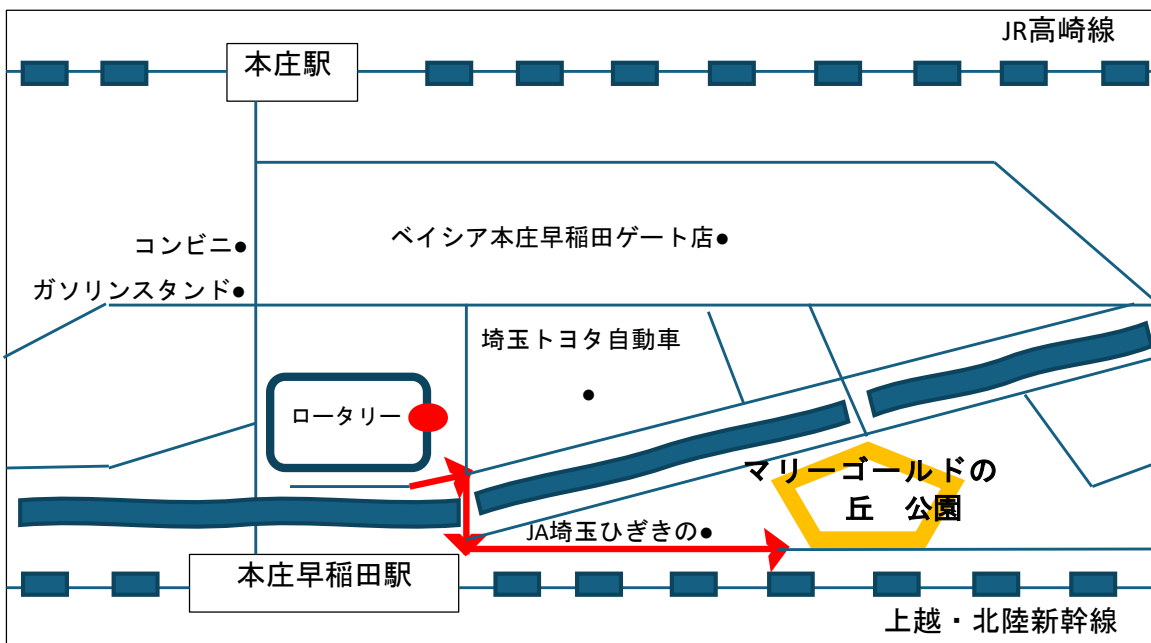
○行き方

こちらの停留所で乗車し、最終停留所の『本庄早稲田駅北口』で降車してください。徒歩約6分マリーゴールドの丘公園まで行くことが出来ます。
なお、はにぽんシャトルの乗車時間は約15分です。

※武蔵観光バスからもご利用いただけますので、合わせてご利用ください。(乗場はロータリー反対側になります。)



○周辺図



マリーゴールドの丘公園まで「はにぽんシャトル」で行けます！

はにぼんシャトル利用促進の取組

令和6年11月から「本庄駅北口」
バス停に掲示



開花状況はこちら！



マリーゴールドの丘公園まで「はにぼんシャトル」で行けます！

○料金

大人（中学生以上）	200円
小学生	100円
未就学児（要同伴者）	無料

※乗車時に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、本人と介護者1人は100円割引になります。

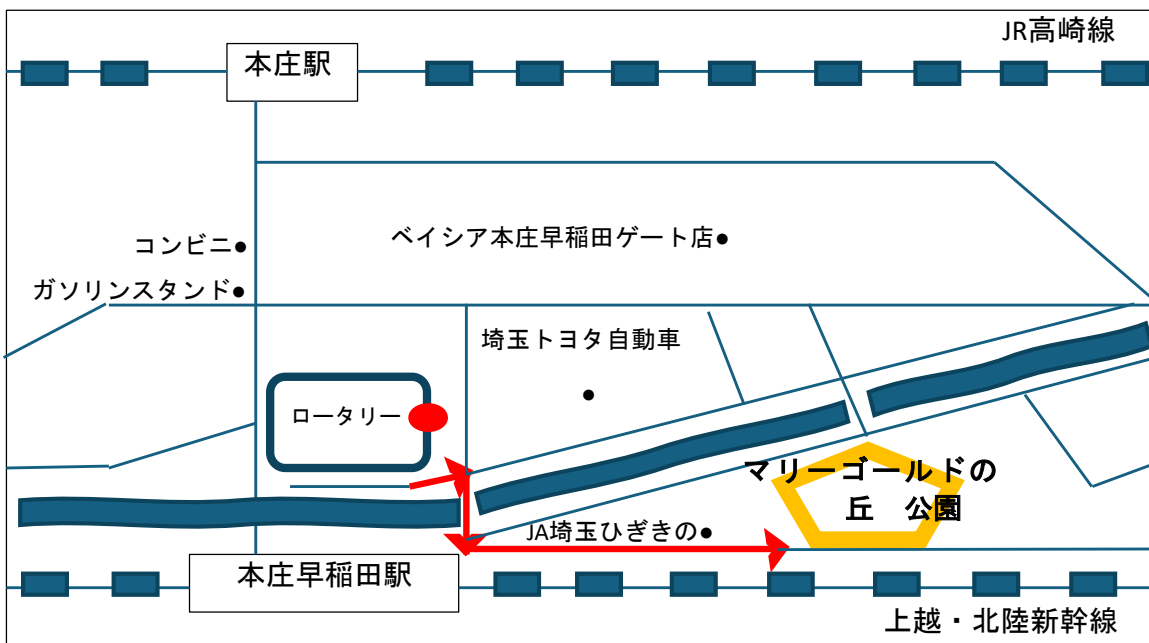
○行き方

こちらの停留所で乗車し、最終停留所の『本庄早稲田駅北口』で降車してください。徒歩約6分マリーゴールドの丘公園まで行くことが出来ます。
なお、はにぼんシャトルの乗車時間は約15分です。

※武蔵観光バスからもご利用いただけますので、合わせてご利用ください。（乗場はロータリー反対側になります。）



○周辺図



議事(3)

令和7年度 本庄市交通政策協議会 歳入歳出予算の変更 (案)

1 歳入

単位：円

款	項	目	変更前の額	変更額	計	変更額の説明
1 補助金	1 補助金	1 補助金	2,000,000	0	2,000,000	
2 交付金	1 交付金	1 交付金	65,900,000	0	65,900,000	
3 運賃収入	1 運賃収入	1 運賃収入	2,000,000	0	2,000,000	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	1,000	0	1,000	
合 計			69,901,000	0	69,901,000	

2 歳出

単位：円

款	項	目	予算額	変更額	計	変更額の説明
1 事務費	1 会議費	1 会議費	240,000	0	240,000	
	2 事務費	1 事務費	101,000	935,000	1,036,000	バス停設置用品(コンクリートベース・アルミ支柱・複合板など17バス停新設分)
2 事業費	1 委託料	1 委託料	67,264,000	0	67,264,000	
	2 補助金	1 補助金	2,296,000	-935,000	1,361,000	フィーダー系統国庫補助金の支出が今年度から不要のため
合 計			69,901,000	0	69,901,000	

3 変更理由

交通空白地の解消に向けて、デマンドバスのバス停留所を新設するための予算をお願いするものです。